

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	2804	領域略称名	スロー地震学
研究領域名	スロー地震学		
領域代表者名 (所属等)	小原 一成 東京大学・地震研究所・教授		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、我が国の研究者が牽引してきたスロー地震学という研究分野に対して、トップクラスの研究者が集結し、発生様式や発生環境、発生原理の理解を進めることを目的としている。スロー地震と従来型の地震の関係性解明など地震の統一的理解に繋がる高い水準の成果を多数生み出すとともに、スロー地震の超広帯域性の発見や水の役割の解明などの当初計画を超えた成果も得ており、高く評価できる。さらに、地球物理学（地震学、測地学）分野に留まらず、レオロジー、非平衡統計物理学等を融合した多角的なアプローチによる研究が積極的に行われた結果、スロー地震発生の様式・機構や原理及びモデル化の研究が進展し、スロー地震の理解を格段に深化させた。また、スロー地震カタログの英文データベース化は、地球規模のスロー地震研究に対して大きな貢献をすることが期待される特筆すべき成果である。一般向けを含む関連書籍の出版、講演会の実施など学術成果の社会への還元・普及も高く評価できる。

このように優れた研究成果を生んだ領域研究であったが、スロー地震と高速すべり地震を統一的理解することまでは達成されていない。今後の研究推進にあたっては、本研究領域の成果に加えて新しい観点からの研究を遂行し、地震学の再構築を実現することを期待する。